

一般質問発言通告書

発言順位 / 番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

平成27年 6月 16日

三島市議会議員 松田 吉嗣 様

三島市議会議員 1 番 中村 仁 

質問事項 1	北沢亜鉛工場跡地の開発について
具体的内容	100年間、汚染されたまま放置されているといわれる北沢亜鉛工場跡地。この下流域の田んぼは水質調査を毎年行うなど、地元にとっても大きな懸案事項でありながら、一向にその進展が見られずにいたこの開発行為が始動することについて。
	1 北沢亜鉛工場跡地の約100年間、歴史的ともいえるその経緯・経過について。
	2 第4次三島市総合計画、第3次国土利用計画（三島市計画）、そして第2次三島市都市計画マスタープランにも記されているこの土地の計画実現に向けた三島市の取り組みについて。
	3 土壌汚染の状況と、その改良工事の内容について。
	4 今後の開発計画と工程について。
	5 特別土地保有税について。
	6 近隣の道路状況をふまえ、その整備の必要性について。
	7 三島市の支援策について。
質問事項 2	子どもの経済・家計的な格差環境とその対応について
具体的内容	家庭の所得格差によって、子どもの学力に差が出るといわれる。食費など子どもをとりまく貧困問題が、頻繁に話題に挙げられている。三島市の現状と対応について伺う。
	1 三島市での所得格差からなる学力の差についての状況把握・対応について。
	2 三島市における子どもの貧困問題について。支援を要する家庭数の状況等でなく、学校において、問題がある可能性がある子どもたちへの対応や状況把握について。
	3 校内における物品の販売や、三島市少年の船事業等、参加費用が別途かかる事業を行うに関して、所得が低い家庭の子どもたちへの配慮・対応について。
質問事項 3	広域で考える観光・国際交流事業について
具体的内容	富士山、韮山反射炉、大吊橋、そして東京オリンピックなど、観光の核となりうる要件が充実されていく中、三島市だけの観光案内や、ガイドマップ、情報発信では、利用者から見て内容が不十分ではないかと感じ、また経済効率も悪いと考える。
	国際交流についても、たとえば箱根町や長泉町も、三島市同様ニュージーランドに国際姉妹都市を持つ。それぞれの市町が単独で、人材の育成やノウハウの継承、そして事業をおこなうよりも、広域で行うことによって、その活動内容、経済効率の面において、メリットがあるように感じられる。
	1 観光と国際交流について、広域で考えることへの見解を伺う。
	2 長泉町との観光行政での連携について見解を伺う。